

マニラ首都圏主要橋梁耐震補強計画【フィリピン】

施策所管局課 国別開発協力第一課

評価年月日 令和8年4月

1 案件概要	
(1) 供与国名	フィリピン共和国
(2) 案件名	マニラ首都圏主要橋梁耐震補強計画
(3) 目的・事業内容 * 閣議決定日、供与条件などを含む	マニラ首都圏内における幹線道路上の2橋梁（ガダルペ橋、ランビンガン橋）について、耐震性向上のための架替及び補強を実施することにより、マニラ首都圏内の交通・運輸ネットワークの災害に対する強靱化を図り、もって災害発生時における都市機能維持能力の強化に寄与するもの。 事業の内容 ・土木工事：ガダルペ橋及びランビンガン橋の橋梁架替・補強 ・コンサルティング・サービス ア 閣議決定日：平成27年8月25日 イ 供与限度額：97.83億円 ウ 金利：0.1%（コンサルティング・サービスについては0.01%） エ 償還（据置）期間：40年（10年） オ 調達条件：日本タイド
2 事業の評価	
(1) 経緯・現状	ア 社会ニーズの現状 本事業の計画当初、マニラ首都圏を分断するパッシング川を渡河する要路にある2橋梁（ガダルペ橋、ランビンガン橋）は、経済活動や周辺住民の生活、災害発生時の早期復旧において重要であると考えられていたが、同2橋梁は大規模地震に対する耐震要求性能を充足しておらず、損壊可能性が高いことが指摘されていた。 近年も大規模地震が頻発しているフィリピンにおいては、依然として当該橋梁の耐震性強化は喫緊の課題であることから、現在も本事業に関する社会的ニーズがある。 イ 事業遅延に関する経緯・現状 詳細設計コンサルタント選定の遅延や、本体工事の入札不調などにより事業が遅延していたものの、2025年に本体

	工事・施工監理コンサルタントともに契約を完了した。その後、着工前に必要な比側の手続きに時間を要し約半年の遅延が生じたことから、着工時期が遅れ、契約当初の 2027 年完工予定から 2028 年に完工予定へ変更となっている。
(2) 今後の対応方針	本件に関する社会的ニーズが引き続きあり、当初予定どおりの効果が見込まれており、事業の進捗を妨げていた要因は解決していることから、引き続き支援を継続する。
3 政策評価を行う過程において使用した資料等	・ 交換公文 ・ 外務省の約束状況に関する資料及び案件概要 ・ 国際協力機構の案件検索 ・ 国際協力機構の事業事前評価表 ・ その他国際協力機構から提出された資料